

メモリアルセンター周辺住民

もてなし隊 きょう発足



い」と話している。同センターは、総合開、閉会式をはじめ、きょう清流国体5競技、きょう清流大会3競技が行われる。すでに周辺の長良、早田、鷺山地区の自治会や商店街の関係者に声を掛けており、当日は100人規模の参加が見込まれている。

きょう清流国体・きょう清流大会のメイン会場となる岐阜メモリアルセンター(岐阜市長良福光)の周辺の住民有志が22日、地域で国体を盛り上げようと、同市内で「長良川もてなし隊」の発足の会を開く。同隊事務局長の川崎久司さん(50)は「47年ぶりの大きなイベント。多くの人に隊員として盛り上げてほしい」と話している。

活動趣旨は、もてなし隊のシンボルマークや広報用グッズの作成、地域の清掃活動など気軽にできることから検討し、個々の自主的な活動に広がっていくのが狙い。「もてなし隊の名前を使い、それぞれ個々で活動することとは大歓迎」としている。

(河合修)

全国からの選手ら迎え 大会盛り上げる



長良川もてなし隊結成

きょう清流国体・清流大会の開閉会式が行われる岐阜市内の会場周辺の住民有志が、全国から訪れる人たちを迎える「長良川もてなし隊」を結成した。式典や競技が開催される秋に向け、隊のシンボルマークを決め、地域を紹介するマップを製作する。(寺本康弘)

岐阜市内の有志

開閉会式の会場は、長が行われる。良福光の岐阜メモリアルセンター。国体のメイン会場で、陸上、水泳、体操、テニス、野球と、県内の会場でも最多の競技発案。四十七年ぶりの国内の会場でも最多の競技発案。四十七年ぶりの国内の会場でも最多の競技発案。四十七年ぶりの国内の会場でも最多の競技発案。



「長良川もてなし隊」を結成し、頭張ろう三唱をする参加者。岐阜市長良福光の長良川スポーツプラザで

地域紹介マップ製作やクリーン作戦検討

主な活動は、隊のシンボルマークをシールや缶バッジにし、玄関に張ったり、身に着けたりするほか、センター周辺のトイレや飲食店、商店街を紹介するマップを製作する。周辺を清掃するクリーン作戦も検討している。今後、三月に総会を開き、具体的な内容を煮詰める。二十二日夜、長良福光の長良川スポーツプラザで発足式が開かれ、約百四十人が参加。頭張ろう三唱で盛り上げを誓った。呼び掛けメンバーの一人、団体職員杉山洋さん(50)は「地域が活動すれば大会も盛り上がる。全国から来た人に快癒と思ってもらえるようなもてなしをしたい」と話している。